



2024年度 第72回 博修士会総会・ 学術講演会(報告)

2024年度の博修士会総会・学術講演会は、9月22日(日)に関西大学吹田みらいキャンパス、サウスウイング2階中研修室で開催した。本会には芝井敬司 理事長、前田 裕 学長、大津留智恵子 副学長、田中義昭 校友会副会長、中西正樹 校友会事務局、小谷寛子 女子秀麗会会長に来賓として出席していただいた。

総会では物故者に黙とうを捧げた後、数年ぶりに学歌を斉唱した。その後、大津留智恵子 副学長、田中義昭 校友会副会長からご挨拶を頂戴し、総会の議事に移った。北嶋会長の議事進行のもとで、2023年度事業報告および収支決算報告、監査報告、2024年度一般会計収支予算案、そして役員改選を含む全ての事案が承認された。

学術講演会では、矢田勝俊 先生(関西大学商学部教授)による演題「ビジネスデータサイエンス(以下、BDS)学部の紹介」が講演された。矢田先生は新(BDS)学部設立に中心的存在としてご尽力され、BDS学部就任を予定されている。講演ではBDS学部の特徴・魅力についてわかり易くご紹介いただいた。

懇親会では、新キャンパスのサウスウイング1階食堂ラウンジで、理事長・学長、矢田先生を囲み「関西大学のみらい」について、食事をしながら和やかな雰囲気でご懇談がなされた。

(博修士会 広報部)



801名の新博修士の誕生 880名の新入生を迎える

2025年3月期関西大学大学院学位記(修士・専門職・博士)授与式は3月21日に千里山キャンパスの100周年記念会館で行われた。学位被授与者は前期課程(修士)655名、専門職62名、後期課程(博士)33名の合計750名であった。当日の会場は修了生とその家族で満員であった。また、3名の論文博士が誕生した。9月期の48名を加えると新博修士生は801名。修了生に対して高橋学長は、「皆さんは、柔軟な思考力と広い視点をすでに備えていて、大きな可能性が秘められている。失敗を恐れず、挑戦をする心を持ちつ続けて欲しい。それが可能性を広げ、人生を豊かにする。そして、関西大学で培った知識と働力を、社会の様々な分野で存分に発揮して行くことを心から願う。」と励ましの言葉を贈られた。

修士・専門職の総代表張暁岩さんからは、「関西大学大学院で学び得た知識や経験はこれからの社会において大いに生かしていき、学び続ける気力を持ち、社会に貢献して行くことが私たちの責務であると感じています。」と答辞を述べられた。博士の代表小野佳彦さんからは、「人生100年時代を迎え、これからの自分の役割を再認識し、国際的な舞台上、博士として自分の知識と経験を最大限に活用してもらいたい。後輩の皆さんが母校に誇りを持ち、これからも熱意をもって学び、社会に貢献できることを心から祈念しております。」と述べられた。



2025年度関西大学大学院春学期入学式は4月2日に千里山中央体育館で行われた。入学者は博士課程前期課程713名、博士課程後期課程63名、専門職大学院104名の合計880名であった。新入生に対して高橋学長は、「学部論文と違って、修士論文・博士論文ではそのハードルはより一層高くなる。禅の教えに前後裁断という言葉があり、これを皆さんに当てはめると、過去にとらわれるず、未来を心配し過ぎず、今に集中して取り組みなさいということになる。今この瞬間の学びと研究を楽しんで欲しいと思います。皆さんが関西大学で学び研究し、やがて社会に貢献できる人材となることを心より願う。」と激励された。



新入生代表山本果穂さんからは、「入学するに当たり、本学建学の精神を尊重し、学則を守り、修学に努め、人格を練り、関西大学の学風を高めると共に、人類文化の発展に寄与することを代表して誓います。」と謝辞を贈られた。
(博修士会 広報部)



お知らせ!

関西大学博修士会

検索



ホームページも見て下さい!

www2.kandai-koyukai.com/al/kandai-md/

博修士会会報 2025年号

2025年7月1日 発行

発行人 北嶋 弘一 編集人 篠塚 義弘・村中 徳明

発行所 関西大学博修士会

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35

関西大学校友会事務局気付